

ドライエッチング排ガス除害装置クリーンエス*1 除害筒再生費の価格改定について

株式会社レゾナック（社長：高橋 秀仁）は、半導体ドライエッチングガスの排ガス除害装置 2 製品に使用される除害筒*2の再生費*3を以下のとおり引き上げることを選定いたしました。

1. 価格改定の内容

- | | |
|--------|--|
| ① 対象製品 | クリーンエス Z 型再生費（酸性ガス除害装置）
クリーンエス PF 型再生費（地球温暖化ガス（PFC ガス）除害装置） |
| ② 値上げ幅 | クリーンエス Z 型再生費 現行価格の 15%以上
クリーンエス PF 型再生費 現行価格の 25%以上 |
| ③ 実施時期 | 2023 年 5 月 1 日以降納入分より適用 |

2. 価格改定の背景

排ガス処理装置クリーンエスは、半導体のドライエッチング工程等で排出される特殊ガスの毒性の無害化や、地球温暖化係数の高いガスを分解する装置です。私たちの生活に欠かせない半導体の製造工程において、地球温暖化へのネガティブインパクトの低減に貢献しています。乾式充填剤を用いた排ガス処理装置は、分解性能を維持するため、一定量のガスを処理する度に除害筒を交換する必要があります。

除害筒の再生を取り巻く事業環境は、昨今の原料価格高騰や、輸送費、その他のコスト上昇等、大変厳しい状況が続いております。

当社はこれまで、さまざまな施策を行い再生費の低減に努めてきましたが、自助努力により吸収することが困難となっています。今後も製品の安定供給を維持するためには、お客様に価格改定をお願いせざるを得ないとの結論に至りました。

*1 クリーンエス：日本における株式会社レゾナックの登録商標

*2 除害筒：半導体製造工程で排出される様々なガスを無害化する処理装置内の反応器

*3 再生費：反応器内の反応剤が破過した際に剤を交換する費用

【レゾナックグループについて】

レゾナックグループは、2023年1月に昭和電工グループと昭和電工マテリアルズグループ（旧日立化成グループ）が統合してできた新会社です。

半導体・電子材料の売上高は、全体の3割にあたる約4,000億円に上り、特に半導体の「後工程」材料では世界No.1の企業です。2社統合により、材料の機能設計はもちろん、自社内で原料にまでさかのぼって開発を進めています。新社名の「Resonac」は、英語の「RESONATE：共鳴する・響き渡る」と、Chemistryの「C」の組み合わせです。今後さらに共創プラットフォームを生かし、国内外の半導体メーカー、材料・装置メーカーとともに技術革新を加速させます。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

株式会社レゾナック・ホールディングス <https://www.resonac.com/jp/>

株式会社レゾナック・ホールディングス

ブランド・コミュニケーション部 広報グループ TEL 03-5470-3235